Rotary 宮崎南週報
ロータリー：変化をもたらす
イアンH.S.ライズリー
2017-18年度RI会長

南の風、みんなで参加。

宮崎南ロータリークラブ
会長　戸髙 勝利

第1947回例会　2018.1.15

会長　／戸髙勝利　　幹事　／入佐秀幸
副会長／日髙勇二　　会報　／島田博良
例会場／宮崎観光ホテル
ソング ／君が代　四つのテスト
ロータリーの目的

会長挨拶　戸髙勝利会長

明けましておめでとうございます。謹んで新春のお喜びを申し上げます。お正月、成人の日も終わりまして早くも15日になりましたが、皆さんいかがお過ごしでしたでしょうか。

新年ですので景気のいい話しをしたいと思います。色々な話題や情報を整理してみますと、世の中景気が良いように世間では言われているようでございます。例えばゴルディロックスと言う言葉をよく耳にします。これはイギリスの有名な童話でして内容を紹介しますと、金髪の女の子が森でクマの家を見つけます。誰もいないので入って見るとテーブルの上におかゆがおいてありました。一つ目のおかゆは「熱すぎる」、二つめのおかゆは「冷た過ぎる」、三つ目のおかゆは「丁度いい」ので全部飲んでしまう。という内容でして、他に椅子の事、ベッドの話もあります。同じように三つの中から「丁度いい」が出で来るわけです。このことを経済学的に使われているのが「ゴルディロックス相場」でして、程よい状況が続く適温相場の事をさしているようです。この適温景気はしばらく続くようであります。株価も高くなく安くもない、物価も安くもなく高くもない「丁度いい世の中」だそうですが、皆さんはどう判断されますか。私は人件費、物価がこれ以上上がらない事を願うばかりです。

宮崎に目を向けますと、高岡の日揮や高鍋のキャノンなど大企業の立地は雇用をはじめプラス材料かと考えます。又宮崎駅周辺での開発も行われるようでございます。それから三月中旬にイオンモール宮崎の増床オープンが行われますが、宮崎一番のショッピングモールとして地元に貢献でき、県民の皆さんが楽しんでもらえる事が大事かと思います。

さて本題に戻しますと、今年度の最優先目標の会員増強三名が達成されておりません。どうにかして早いうちに達成したいと考えておりますので、皆さんのご協力を宜しくお願い致します。今年も会員の皆さん、そしてロータリーが良い年になります事を祈念申し上げまして、新年の挨拶とさせて頂きます。有難うございました。

出席委員会報告　長澤好太郎委員長

●出席状況

本日状況	
会員数	(45) 46名
本日欠席者数	11名
本日出席者数	35名
出席率	77.78%

前々回状況	
会員数	(45) 46名
ホームクラブ出席者数	33名
メークアップ数	2名
修正出席者数	35名
修正出席率	77.78%

●前々回メークアップされた方／寺村明之会員、星野敬人会員

ニコニコBOX	2件 6,000円 累計274,000円	募金箱	6,311円 累計101,200円

幹事報告　入佐秀幸幹事

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

・2730地区職業奉仕研修会のご案内
平成30年1月20日(土) 12:30～14:30
メインホテルナカムラで開催されます。参加希望の方は事務局まで。

・串木野RCより例会場変更のご案内　平成30年1月16日より本浦交流センターに変更になります。

・「書き損じハガキ・キャンペーン2018」のご案内
2月末まで実施されますので皆様のご協力よろしくお願いします。

・中部分区IMが2月17日に開催されます。多数の出席をお願いします。

Rotary ロータリー情報　●職業奉仕（Vocational Service）

職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うこと、そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる。

ニコニコBOX

生田祥予会員

年末皆様に来て頂きありがとうございました。おかげ様で今以上に仲良くさせて頂きうれしいです。

大迫三郎会員

商工会議所主催の新年互礼会で年男の一人として鏡開きの記念をさせて戴きました。気分は第2回目の年男です。

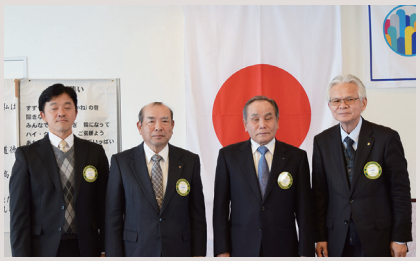
ロータリーフラッシュ

●誕生月

菊池武英会員
甲斐宗雄会員
入佐秀幸会員
川村雅宣会員
岡﨑勝信会員
三重野 孝会員

●結婚月

坂田　勝会員
早瀬清則会員
寺村明之会員
三重野 孝会員
蛯原　学会員



●米山奨学金授与式

ミヤ ティン チュ チュウ様

本日のプログラム
会員卓話

卓話　　大迫三郎会員

約20数年前、始めてゴルフに出掛けた時に一緒にプレーした高原の木材会社の当時社長の村上さんが、俳句をつくりながらプレーされ感動して、ゴルフをやってみようと契機になりました。その後交友を続ける中で「面白い話」を手紙で戴きました。その一部を紹介いたします。

・日日是好日　清流無間断（ヒビコレコウジツ　セイリュウカンダンナシ）（森喬一先生年始状）
・言葉は正に力であり勇気と希望と反省の灯台でもある（小牧先生、クリニック）
・成功する道は、熱意を集中する事である。知恵は、熱意から生まれる。
・１．入るをはかって出ずるを制すのではなく「出ずるを制して入るをはかる」方が良いと思う。
　２．大器は人を求め　小器は物を求む
　　（井原隆一先生談）
・１．反省、瞑想、祈り
　２．明るく、素直で、温かく（丹波哲郎氏講演より）
・寒さに震えた者ほど、太陽の暖かさを知る。
　人生の悩みをくぐった者ほど、生命の尊さを知る。
　（ホイットマン）
・観自在　例えばビンに半分の酒、「あゝもう半分しかない」と見るか、「まだ半分はある」と見るか
・やはらかに積もれる雪に熱（ホ）てる頬を埋づむるごとき恋して見たし（石川琢木）
・早（サ）わらびが握りこぶしを振り上げて
　山の頬面（ホホヅラ）春風ぞ吹く（蜀山人）
・花に水　人に愛　料理に心
・人は、強くなければ生きられない。しかし、優しさがなければ生きる資格がない
　（米国作家レイモンド・チャンドラー）
・１．焼け石に水（反対語）雨だれ石をうがつ
　２．天というものは、人間に失敗の苦しみを与えてくれるものだが、発憤の希望をも与えてくれる。七転（ナナコロビ）の試練を課す代わりに八起（ヤオキ）の気力を授けてくれているものである。厳しさや困難を苦と考えるから神も仏もあるものかと捨て鉢になる。天の試練と考えれば天はまだ自分を捨てていないと気付くだろう。
　３．企業の病気を治す名医は、危機に勝るものはない。会社を危うくするものは依存心である。
　（井原隆一先生談）
・サラリーマン川柳全国コンクールより
　１．王将を歌い続けて歩（フ）のまんま
　２．粗大ゴミ朝出したのに夜戻る
　３．平（ヒラ）泳ぎ五十のターンが見えて来た
・山本五十六海軍元帥　昭和20年4月3日の手帳に
　すめらぎのみたてとちかう真心はとどめおかまし
　命死すとも
　１．4月17日戦死
　２．元帥座右（ザウ）の銘
　　イ．１忍もって百勇をさそい　１誠もって百道を支う
　　ロ．我慢
　３．日露戦争に若い時出征、被弾し
　　左手指2本無くす、3本なら退職の規定であった。
・能ある人には地位を　功ある人には碌を
・「木の葉のそよぎ、風の音にも静かに耳を傾ける心は美術を愛し、人間を愛する心である」チャーリー・チャップリン

・本当のものが判らないと本当でないものを本当にする
・今死んでも生き甲斐があったと云える人生にしよう
・不平不満を云っているうちは運は無い（常に自分中心だから）
・感謝する者は幸せである
・現状に不満の者は何を与えてもすぐに元に戻る。永遠に満足は無い
・なくて良し、あって良し、降って良し、晴れて良し。死んでも良い、生きていて結構、川の流れの如く、今あることに感謝
・利を追う時は義を思え　孔子
・新聞と雑誌の違いは（新聞は深刻がり、雑誌はおもしろがる）傾向がある。（竹村健一先生）
・あえて寸を進めずして、尺を退く（撤退学）
・雪花菜（キラス）おから、豆腐かす。
・極楽トンボ（事の重大さに気付かず一人のんきな事を考えている人を評す）
・わけのぼるふもとの道は多けれど　同じ高嶺（ネ）の月を見るかな
（名歌辞典昭和11年9月20日発行に詠み人知らずとあり）
・咲く時は花の数にはあらねども　散るにはもれぬ山さくらかな（伊達政宗）
・勝つ秘訣（将棋名人谷川浩司氏）形勢がよくなった時あわてない。形勢が悪くなった時にはあきらめないことです
　１．40歳迄は勝つ戦いを心がけよ。
　２．40歳を過ぎたら、負けない戦いを心がけよ。
　　（武田信玄）
・重松先生三拾健康法
Ａ１．10時間寝る（夜８時に寝て朝６時に起きる）
　２．10キロ歩く（朝６キロ、あとパラパラ）
　３．充分食べる（朝７時30分食事　ご飯２杯）
　　（夕６時30分食事　ご飯２杯）
Ｂ部屋の温度は、自然に近くないと外に出て風邪をひく
Ｃ頭をからっぽにする
Ｄ腹を空にする
１．円高で急激なショックのような時、小細工するな。原点に戻って考えるとよい海に浮かんでいる船と思えばよい。輸出があわないでも輸入は安くなる。技術の附加価値は浮力だ。浮力のない船は沈む。
２．経営は、タイミングだ。
　（東海大学教授　唐津一氏、元松下通信重役）
・株はいい株（男）と安い株（女）のかけあわせで子供が出来る。買ったら売らぬ年に１度か２度しかそのチャンスは無い。あとはひま、安い時の株金借りてまで買うな
　（重松先生）
・お茶でうがいすると風邪を引かない　日本茶でもその他のティーでも良い（NHKテレビで）
・日本の知恵「負けて勝つ文化」竹林の知恵
　（森喬一先生）
・１利あれば１害あり
・いらぬものも３年たてば用に立つ
・成る程ちぎるは秋なすび　なってもちぎれぬ種なすび（相づちを打つ時に使う）
・ももくり三年柿八年　柚（ユズ）は九年で成り下がる
・体曲れば影斜めなり
・日向の国　むら立つ山のひと山に　住む母恋し秋晴の日や（若山牧水）
・確かに　冷戦という氷はとけたけど　壊れた氷位危いものはないのよ（サッチャー英元首相）
・勝って驕（オゴ）らざる者のみが次の勝利者となる
・山中の賊を破るは易く心中の賊を破るは難し
　（王陽明）
・誰も見ぬ山あいの百合の花　清き姿を水にうつしぬ
・仏も昔は凡夫（ボンプ）なり
・人生は心一つの置きどころ（良寛）
・人徳なければ人脈なし
・１．この世の根本原理は「待つ」ことだ
　２．最も大きな物持ちは「時間持ち」だ。他にふり廻されぬ「時」を待つのは宝（重松先生）
・多角化は非関連に伸びるのは危険　得意の分野に足をかけて少しづつ重心を移していく
　（田辺昇一先生談）
・肩こりは風呂の中に入り　ふくらはぎを年の数もむとなおる（森喬一先生）
・１．物言わぬ花にはあれど　物言ふにまさる心をくみたまへかし（高松宮妃殿下）
　２．物言わぬ花の心をくみかねて老の闇路を迷うわれかな（いけばな芸術協会副会長就任を妃殿下にすすめられ石坂経団連会長の返歌）
・死体に「南無妙法蓮華経」と唱えれば、不思議に体がやわらかくなる。（森喬一先生）
・町人の常に守るべきは謙の一字なり。謙というは、人にいんぎんに尽すことのみを言うにあらず。天理を恐れ慎むは、みな謙の道なり。西川如見（徳川八代浮軍吉宗の時）
・知恵を借るのも知恵のうち
・物慾なき者は強し
・国の衰亡に三つの兆しあり
　１．何ごとによらず黒白がわからなくなる。万事に迎合的で、云い訳ばかりの風潮
　２．善良な人がますます遠慮がちになり、奸智のやからがのさばり出る風潮
　３．問題が深刻になると、あれももっともこれももっともと、ものごとを決める勇気に欠ける風潮となる。すべての組織は一人によっておこり一人によって亡びるといい、木は梢から枯れ、魚は頭からくさる（安岡正篤師）
・事足れば足るにまかせて事足らず足らで足るこそ心安かれ